

学研高山地区
南エリア
まちづくり協議会

設立経緯

令和5年5月20日(土)

1. 南エリアまちづくり協議会設立までの取り組み

令和3年度

9月 『学研高山地区第2工区マスタープラン素案』とりまとめ

1月 事業アドバイザー及び立地等検討企業募集開始

令和4年度

4月 事業アドバイザー4者決定 立地等検討企業9者エントリー

6月 『学研高山地区第2工区マスタープラン策定』

7月 令和4年度 地権者の会総会

8月 広報いこまち掲載 『次世代の力になる学研高山地区のまちづくり』

11月 第1回 学研高山地区第2工区事業推進会議
第24回地権者の会役員会 『先行個別地区の設定』

12月 まちづくりニュース第5号発行 『先行個別地区の設定』の周知
第1回南エリア発起人会

1月 まちづくり協議会設立に向けた意向確認

2月 第2回南エリア発起人会

3月 第3回南エリア発起人会

令和5年度

5月 南エリアまちづくり協議会設立総会

2. 南エリアまちづくり協議会 設立趣意書

設立趣意書

学研高山地区第2工区は、長らく事業化に至りませんでした。その様な中、平成28年に生駒市が都市再生機構より用地を取得されました。これを機に、再び生駒市が推進役となり、まちづくりの実現に向けた様々な検討が進められてきたところです。そして、その一つの成果として、昨年6月には今後のまちづくりの方針となる「学研高山地区第2工区マスタープラン」が策定されました。

一方、我々地権者は、事業化に向けて一丸となるべく、平成30年11月「学研高山地区第2工区地権者の会」を設立しました。地権者の会では、事業アドバイザーを募集するなど、新たなまちづくりの実現に向けて活動してきました。

このような取り組みにより、事業アドバイザーの提案や有識者等で構成する事業推進会議の意見等を踏まえ、我々の所有地が先行個別地区に定められました。学研高山地区第2工区はいよいよ事業化に向けて動き出します。

これから、我々先行個別地区の地権者はひとつになって力を合わせ、新たなまちづくり実現への礎となる第一歩を踏み出します。その一歩が学研高山地区第2工区全体のまちづくりに波及する大きな一歩となるよう、まちづくりの先駆けとして、ここに「学研高山地区南エリアまちづくり協議会」を設立するものです。

令和5年1月10日

設立発起人一同

設立発起人

稲垣 武司 久保 幸作

中田 忠彦 西井 久之

松山 治幸 村田 卓司

山本 利昭 生駒 市

4. まちづくり協議会設立に向けた準備

第1回発起人会 令和4年12月16日

○まちづくり協議会の設立に向けて

- 設立趣意書
- 参加への呼びかけ
- 協議会への参加案内など



第2回発起人会 令和5年2月15日

○まちづくり協議会の賛同状況

○役員案の作成

○協議会名称について



第3回発起人会 令和5年3月31日

○設立総会の開催準備

- 規約案
- 活動内容案
- 役員案 などの作成



5. まちづくり協議会加入状況

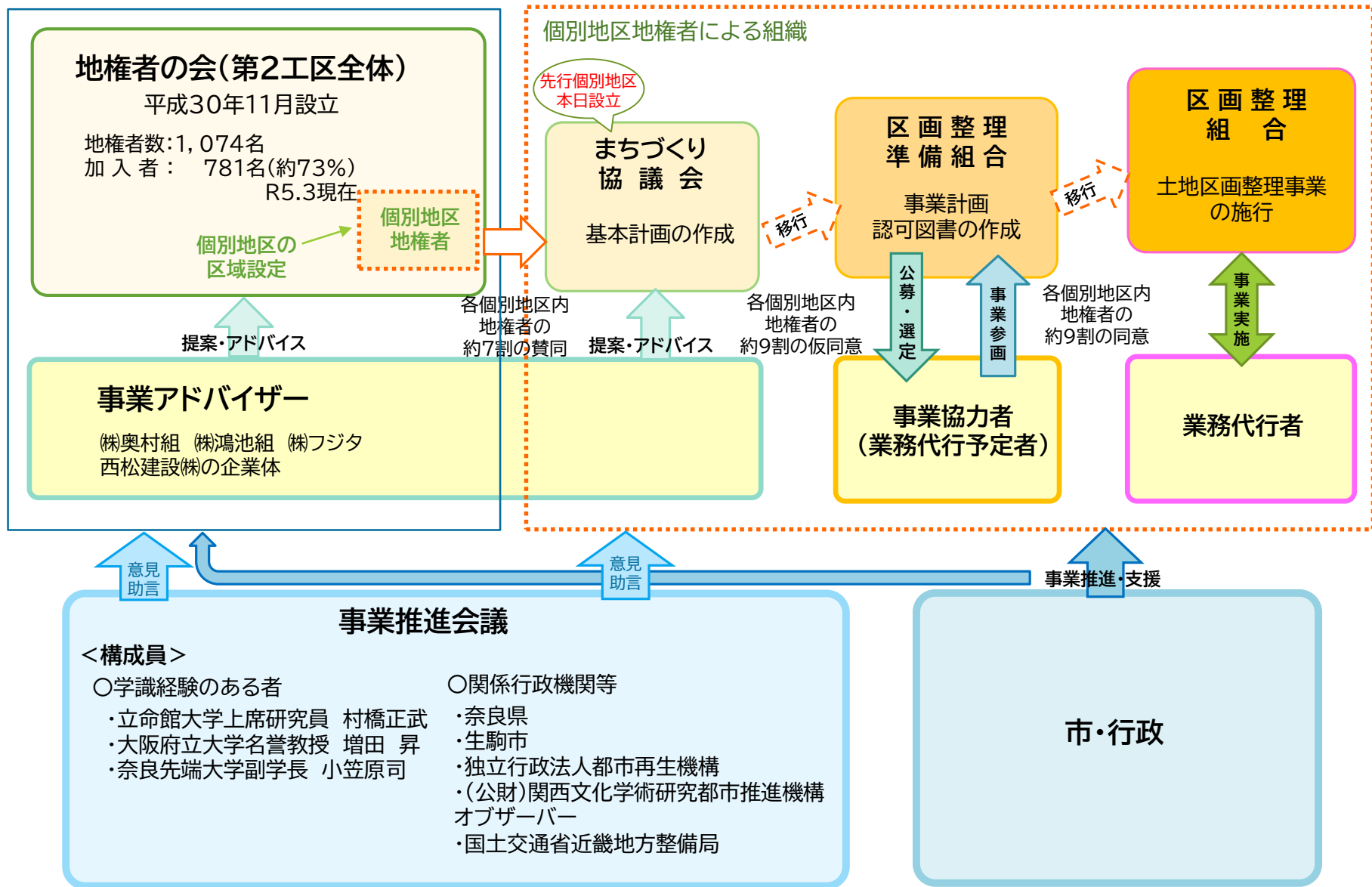
目標の7割を超える**81.3%**の方々が参加意向を表明

(令和5年4月1日現在)

地権者の居住区	地権者数※	加入者数	加入率
高山町・鹿畑町 精華町東畑区	45	41	91.1%
上記を除く市内	15	12	80.0%
県内市外	19	17	89.5%
県外	55	39	70.9%
合計	134	109	81.3%

※地権者数について、共有地については代表地権者を1とする。

6. 事業推進体制



7. まちづくりロードマップ

■まちづくりロードマップ

